



永福学園通信

令和4年12月23日

R4 第8号

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦

今年を振り返って ～目的と目標の違い～

年内も余日少なくなってきました。明日から冬季休業に入りますが、児童・生徒の皆さんには、好きな学習や興味のあることに集中的に取り組んだり、自分自身と向き合う時間をつくったりして充実したものになることを期待しています。

また、新型コロナウイルス感染については、東京都では未だ感染者数も多いため感染予防の徹底を引き続きお願いします。ただし、厚生労働省も発表しているように、マスクの着用については、「場面に応じた適切な着脱」が推奨されています。学校においても基本的な感染対策については、メリハリをつけて行うことを今後は進めてまいりますので、御家庭においても御指導をお願いします。

さて、私は4月に着任した際、両部門の高等部の生徒に、「今年の干支は、寅年であり、寅年は成長していく年、これから成長する事が生まれる年であると言われていること、皆さんには、改めて自分自身が成長できるように、今年を目標をたてて、目標が達成できるよう努力することを期待していること」について話しました。児童・生徒の皆さん、今年を目標は達成できたでしょうか。ぜひ振り返ってみてください。そして、来年の目標をこの冬季休業中に考えてください。

話は変わりますが、私は、「目的」と「目標」の違いを明確に理解することが重要だと考えています。「目的」とは、最終的に成し遂げようとする事柄です。「目標」は、目的を達成するために設定した具体的な手段です。しかし、「目的」「目標」の言葉の意味を十分に理解していないまま使われている場面を時々見受けます。特に、「目標」が「目的」となっていることがあります。部活動で例えると、勝利を目指すことは目的でしょうか、目標でしょうか。私は目標だと思います。それでは部活動の目的とは何でしょうか。それは、集団活動等を通して、自主性、社会性を身に付け、豊かな人間性を育成することや、健康で文化的な生活が送れるようになることです。学校経営でいうと、学校経営計画に示した取組は、理想とする学校の具現化を図るための目標です。

なお、学校評価では、今年度の取組に関して評価していただくとともに、貴重な御意見をいただきありがとうございました。皆様からいただいた評価については、真摯に受けとめるとともに、改善すべき点は早急に改善を図ります。また、単年度の取組（目標）に対する評価について一喜一憂せず、しっかりと「目的」を見据えて、次年度の「目標」を設定します。今年度の学校評価の結果や次年度の学校経営計画等につきましては、外部評価委員の提言等を受けて、後日報告させていただきます。

結びに、保護者や関係者の皆様には、本校の教育活動に対して、御理解・御協力を賜り本当にありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。

校長 緒方 直彦

One school!! One team!!



永福学園 学校行事の紹介

学習に関連付けた様々な学校行事を実施して、充実した学校生活を送っています。感染防止に努めながら、規模や活動場所を工夫した各行事の様子です。

【肢体不自由教育部門】

3年ぶりに運動会を開催

小学部 低学年

軽快なリズムの音楽に合わせて踊って盛り上げたオープニングアクト。筒を倒し陣地まで運ぶ種目「力を合わせてよいしょよいしょ」。頑張っている姿、少し緊張している表情など児童たちのいろいろな姿や表情を見ることができました。それを保護者の皆様にお届けすることができ子供たちにとっても教職員にとっても最高の時間となりました。

教諭：杉山 卓郎

小学部 高学年

児童22名が、空手着に帯を締め、正拳突き、前蹴り、試割り
に挑戦した「永福空手道選手権大会!」。気合の入った声と動き
に子供たちは興味津々で、夢中になって技の修練に励みました。
一人一人の得意技を堂々と披露し、たくさんの拍手をもらいま
した。全員で最高の時間を共有でき感無量の思いです。押忍!

主任教諭：宇都宮 浩司

中学部

フロアに立ててあるたくさんのパネルを狙って、一人一人の方法でボールを転がしパネルを倒して、数を競い合う「たおしてフィーバー!」。生徒たちの中には、練習とは違った雰囲気
に緊張する様子も見られました。しかし、競技が始まるとボールを投げたり、転がしたり、蹴ったりして、次々とパネルを倒すことができ熱いゲームを繰り広げました。

教諭：酒井 雄一郎

高等部

高く積まれた箱を自分の得意な動きで倒す「たおしてDON!!」。ボールを投げ、的にボールを張り付け数を競う「ベ
ガーボール」。子供たちは、練習の成果を十分に発揮しながら、勝
敗を意識し楽しく競技をすることができました。保護者の方々の
声援や励ましが子供たちに届き、最高で最大の力となりました。

主任教諭：磯邊 秀治

【就業技術科】

協力して生き生きと活動しました!生徒の声をお届けします。

【遠足】

春に学年ごとに「都内を歩く!」遠足を行っています。「仲見世通りで、どら焼きと大福を買って嬉しかった。」「東京都慰霊堂では、地震の被害がとても大きいことを見て伝わった。復興記念館では、東京空襲でたくさんの被害者が出ていて、改めて戦争の恐ろしさを知った。こうして現場に行くことの重要性を理解した。」(2年生)

【陸上記録会】

9月に全校で、陸上競技場貸切で行いました。「緊張して足が震えた。でも、気持ちよく走れたので良かった。」「たくさん応援して盛り上がった。〇〇さんの走りに感動した。」「最初で最後。真剣に、楽しくできました。開催されて良かったです。」(3年生)

久しぶりの宿泊行事

【移動教室1年 10月群馬県】

「たくさんの何気ない会話が楽しかった。」「普段関わりの少ないクラス
の人の知らなかった部分を知って仲良くなれた。」

【修学旅行2年 12月鎌倉・横浜】

「普段と違うとてもおいしいものがたくさん食べられた。」「たくさんのことを学び、集団生活をとおして仲間との絆が深まったので、楽しく最高の修学旅行にできてよかった。」

主幹教諭 土田 律子

東京都立永福学園

○肢体不自由教育部門

副校長 秋本 友美
主幹教諭 池田 佳信

小松 弘喜

○就業技術科

副校長 山崎 裕之
主幹教諭 土田 律子



〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

ファクシミリ 03-3323-1381

ホームページ

<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>